

平成29年度 映像制作助成事業(海外プロモーション映像活用事業助成金)

1 目的

海外に向け、映像を活用して商品の販路拡大や観光客誘致等を実践する札幌市内企業等の取組に対し、その経費の一部を補助することで、映像関連産業以外の産業の映像活用及び海外への販路拡大を促進することを目的とする。

2 補助対象者

- ・札幌市内企業等
- ・札幌市内企業等を代表として構成したコンソーシアム

3 補助対象事業

札幌市内の映像制作事業者等を活用して、海外に向け、商品のプロモーションに資する映像制作を行い、海外の映画・テレビ番組、インターネットでの動画配信等の媒体や見本市等でその映像を発信するとともに、それと連動して商品の販路拡大や観光誘客等を実践する取り組み

4 補助金額

補助対象経費の1/3以内、上限額1,000万円

5 補助件数

- 2件
(平成29年度採択案件)
- ・絵本のアニメーションDVD化事業(特定非営利活動法人Fit北海道会議)
 - ・タイのメッシ"J"を活用したドキュメンタリー映像の発信による北海道プロモーション(株式会社JTB北海道)

6 補助対象経費

- 本事業実施に係る以下の経費
- 業務委託費(映像コンテンツの制作及び放映・公開のために支払われる)
 - ①施設使用料、②撮影許可手数料、③人件費、④機材費、⑤車両費、⑥宿泊費、⑦航空賃、⑧放送枠料)
 - その他適当と認められる経費

7 募集期間

- 【1回目】平成29年5月24日 【2回目】平成29年7月18日
【3回目】平成29年9月22日 【4回目】平成29年12月13日

8 申請の受付・問い合わせ

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 映像産業振興課映像産業振興係
〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 札幌市産業振興センター
TEL:011-817-5711 URL:https://www.screensapporo.jp/subsidy/

※平成30年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

特定非営利活動法人 Fit北海道会議

絵本のアニメーションDVD化事業

- 所在地/札幌市中央区南1条西5丁目17-2
プレジデント松井ビル3F
- TEL/011-210-2110 ●FAX/011-221-3977
- 代表者/太田 清澄
- 設立/2012(平成24)年6月 ●従業員数/10名
- URL/http://fit-h.net/

大学名誉教授を理事長に、北海道の食を通じて人と地域の豊かな未来づくりを目指すNPO法人。道内の生産者や自治体、加工・製造会社をコーディネートし、未利用資源を使った食品開発や、6次産業化などをサポートする。マーケティング・販路開拓までの戦略提案を行い、地域活性化を支援している。

故おおば比呂司さんの絵本を映像化。 アニメーションムービーを通じて札幌の観光をPR

地域資源を活用するプロデュース集団

「Fit北海道会議」には地域活性化や事業活性化を目的とした商品開発などの分野に精通した人材が集まる。女性を対象とする市場化支援組織とのネットワークを持ち、地域や企業の課題解決に向けたプログラムの策定と実践を得意としている。これまで、年間10~20件の案件に対応し「とちか池田の牛カレー」や「とうべつ玄米リゾット」といった製品をプロデュース。道内の各地域へ貢献してきた。

役員の中にたまたま、札幌出身の漫画家・画家である故おおば比呂司さんと親交があり氏の作品権利を管理しているメンバーがいた。今年2018年は氏の没後30年にあたることから「節目になにかしたい」という想いを抱き、模索していた。そんな時に札幌市の海外プロモーション映像活用事業助成金の話しを聞き、おおばさんが遺した「サケの旅」という絵本を映像化することで、札幌・北海道の観光PRに役立てないか、ということで事業化が決まった。

制作は難航するも短期間で完成

2017年7月。台湾で企画された日本フェア「2017美食展」に札幌市がブースを出展することになり、その場で今回企画されたムービーを持ち込むことが決定した。そのため、制作期間が約2ヶ月間と短かく制作メンバーを苦しめた。30ページほどの絵本を動画に再編集

する作業は思ったほどやさしくはなかった。原画のもつやさしい雰囲気を残しつつ動画ならではの動きや演出をつけなければならぬ。なかでも制作陣を悩ませたのは、ナレーションを入れるタイミングだった。何度も試行錯誤した。

こうして夏、映像は完成。台湾でデビューした。会場でのアンケートでは好評だった。その後、パッケージデザインなどを検討し、DVD版とブルーレイ版それぞれ5分30秒の動く絵本が完成した。商品は当面、札幌市資料館のおおば比呂司記念室のグッズ販売コーナーに置かれる。サケが戻ってくるまち札幌の自然豊かな一面を知ってもらいたいとメンバーは意気込む。

子どもたちと 外国人に見てほしい

今年2018(平成30)年は北海道150周年にあたる年。この記念事業にも、おおば先生の作品を通して自然豊かな札幌・北海道を体感してもらいたいと思っています。30年以上経っても決して色あせることのないこの作品は、特に子どもたちと外国人に見てもらいたいと思っています。



常務理事
茂手木 貴一

おおばさんの作品が販売される「記念室3」



原作の絵本「サケの旅」



今回映像化された2種類の商品パッケージ



映像の1カット、絵が動きナレーションが入る

